

# 「もっといい」の、その先へ

いまを生きる人たちのために、未来を生きる人たちのために、

私たちは、変わることをためらわない。

私たちが創るインフラは、

これまでも、これからも「もっといい」。

私たちは創る。新しいインフラを。新しい社会を。

すべての人のための未来を。



## 「夢」という名の橋を架ける 本四架橋から続くフィロソフィー

人・夢・技術グループの長大は、わが国の国家プロジェクト「本州四国連絡道路建設事業」をルートとする総合建設コンサルタントです。

その長大は、このほどフィリピンの共和国の国家プロジェクトであり、東南アジア最長の海上橋梁でもある「バターンーカビテ連絡橋架橋」の施工監理を担うことになりました。かつて、わが国の「夢の架け橋」を設計し、国民の暮らしと経済活動を支え続けてきた長大はいま、フィリピンの「夢の架け橋」の建設に、これまで培った知識知と経験知を注ぎ、同国民の暮らしと経済活動を支えようとしています。

こうした長大のアイデンティティは、老朽化が進行する国内のインフラメンテナンスにも息づいています。

多くの離島架橋を有する長崎県は、「長崎県長大橋維持管理業務」を国内初の「民間資金等の活

用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づく特定事業として実施することを決め、公募型プロポーザル方式で発注。長大が最優秀提案者に選定されました。この事業の対象は、支間長200mを超える橋梁7橋。このうち2橋を5年にわたって維持管理する第1期事業は、高度な予防保全とコスト縮減、さらには長期にわたる橋梁の使用の実現が求められる超高難度の事業です。島国であり、その国土に急峻な山地と多くの急流を抱えるわが国にとっては、すべての橋梁メンテナンスの試金石にもなる事業でもあります。

いまを生きる人たちのために、未来を生きる人たちのために。長大由来のフィロソフィーは、過去から現在（いま）へ、国内から海外へ、そして現在から未来へと「夢の橋」を架け続けていきます。



代表取締役社長  
野本 昌弘

Profile◎のもとまさひろ 1959年11月生まれ、大阪府出身。83年、長大橋設計センター（現長大）に入社。2010年同社取締役上席執行役員構造事業本部長に就任。21年、同社社長最高執行役員、24年、人・夢・技術グループ代表取締役副社長を経て、25年12月、代表取締役社長に就任。

人・夢・技術グループの概要◎ 本州四国連絡道路の瀬戸大橋や明石海峡大橋など、国内外の橋梁設計で数多くの実績を有する建設コンサルタント・長大を中核とするグループ会社。傘下は国内12社、海外2社を数え、地質地盤調査のバイオニアである基礎地盤コンサルタントをはじめ、その顔ぶれは多彩。



人・夢・技術グループ株式会社

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目20番4号 TEL.03-3639-3317  
<https://www.pdt-g.co.jp/>

